丸型ポストフェスティバル2018 in ふみの街 西尾

地域の活性化を　愛知県西尾市で開催

「丸型ポストフェスティバル2018 in ふみの街　西尾」が3月17、18日に愛知県西尾市で開催された。全国で約5000本が残っている丸型ポストを活用、郵便局と連携して地域活性化を図っているグループが集まって情報を交換した。西尾市、西尾市教育委員会、商工会議所、観光協会、西尾郵便局が後援した。西尾市には特産の抹茶の色をした丸型ポスト「おもてなし♥まごころポスト」が設置され、市民に親しまれている。

中村西尾市長

尾崎教育長

渡辺県会議員

「丸型ポストトーク」の斎藤さん㊨と庄司さん＝3月18日、井桁屋公園

小学生が記念投函

「丸ポストの唄」を披露するエレノア・シーさん

西尾郵便局の臨時出張所と小型日付印

丸型ポストフェスティバルは、平成27年に「幸福の黄色い郵便局ポスト」（四季彩通り商店街）のある宮城県大崎市で、丸型ポストサミットとして第1回が開催された。28年はピンクの「幸運のえにしずくポスト」（カラコロ工房）の松江市、29年からはフェスティバルと改め、「白いポスト」（犬吠埼灯台）の千葉県銚子市で開かれ、今回で4回目となる。

西尾郵便局の朝倉久男局長が「今年は抹茶色ポスト設置から10周年、きれいに〝お色直し〟をして皆さんを迎えた。丸型ポストは1949年から本格的に設置され、72年には全国で5万5000本となったが、現在は約5000本。東海支社管内では720本、西尾局エリアでは12本が活躍している。長く保存していきたい」と語った。

松鶴園の若杉秀樹社長は「西尾は抹茶の生産が日本一。スイーツにも使われるようになり海外でも人気がある。多くの人に更に利用いただきたい」、重徳和彦衆院議員が「抹茶色ポストが市民のシンボルとして長く親しまれることを望む」と祝辞を述べた。

西尾市議会の青山茂議員（元・西尾郵便局長）が紹介され、藤川正人参院議員、愛知県議会の渡辺靖議員をはじめとする祝電が披露された。

続いて西尾市在住の洋画家、斎藤吾朗さんが「ふみの街　西尾と丸型ポストのご縁」と題して基調講演を行った。斎藤さんは郵政事業に関する多くのコレクションがあり、抹茶色ポストの設置に尽力した。ルーブル美術館で「モナ・リザ」をシャガールに次いで公認模写したことでも知られる。

「西尾は古代の木簡が出土、古い郵便局の建物が残存」「作家・尾崎士郎の出身地であり、人生劇場の中に郵便局が出てくるが、父が郵便局長、その跡を兄が継いだ」など西尾の〝ふみ〟にちなむ多くのエピソードを紹介した。

また、国道23号線が走っているが「23は〝ふみ〟。道の駅もあり、そこにピンクの〝人生バラ色ポスト〟を設置したい」とユーモア交えた話に会場はわいた。

松鶴園の工場見学、記念撮影に続き、抹茶色ポストの設置にも関わった丸型ポスト写真家、庄司巧さんが郵便創業時の制服姿で登場。母校の同朋高校（名古屋市）放送部が制作した手紙をテーマにしたラジオドラマ「想いを託す赤丸ポスト」を紹介した。また、庄司さんは丸型ポストへの思い、全国から集まった郵便局長らは特徴ある丸型ポストと地域との関わりについて述べた。

千葉県銚子の犬吠埼灯台の「白いポスト」は佐原郵便局の若林正浩局長、名古屋市の金色の「徳川宗春ポスト」は舟橋幸江さん、長野県塩尻市の贅沢郵便局の「LETTER POST」は小澤準一さん、腰原幸朗さん、吉澤禮一さん、兵庫県川西市の「きんたくんポスト」は川西久代郵便局の黒山敦也局長、栃木県栃木市の「金のポスト」は合戦場郵便局の添原康史局長、神奈川県小田原市の「木製丸型ポスト」は酒匂郵便局の川瀬潤局長、石川県七尾市の「鉄道郵便車にある丸型ポスト」は中島郵便局の大杉輝男局長が、地域振興策などの活動事例を報告した。

愛知県の大村秀章知事が「様々なポストを通じて郵便を守っていくことは素晴らしい。地域の盛り上げに役立てて欲しい。丸型ポストのネットワークが更に広がっていくことを望む」と期待を示した。

18日は抹茶色ポストが設置されている井桁屋公園で、設置10周年の記念ベントが行われた。西尾市では昭和20年代に鋳物工場で丸型ポストが造られていた。

平成20年に静岡県浜松市の旧佐久間中学校で保存されていた丸型ポストが寄贈され、井桁屋公園に設置され、市民に親しまれているほか新たな観光名所となっている。通信文化協会調査役・前郵政博物館長の林健志さん、名古屋福徳郵便局の加藤芳隆局長ら多くの郵政関係者も参加した。

岡田実行委員長のあいさつに続き、西尾市の中村健市長が「結婚前に妻と待ち合わせたのは抹茶色ポスト。手書きの手紙は感動を伝える。市のPRとともに心と心のやりとりもアピールしていきたい。ポストが更に愛されることを祈念」、尾崎智教育長が「子どもたちが手紙を書くことに目を向けてくれることを願う」、渡辺県会議員が「手紙文化が次の世代に繋がることを期待」と述べた。

斎藤さんと庄司さんが、抹茶色ポストの設置経緯や各地の丸型ポスト、西尾の歴史などについて「丸型ポストトーク」。また、斎藤さんが作詞作曲した「丸ポストの唄」をジャズシンガーのエレノア・シーさんが披露した。

小学生が記念投函。西尾郵便局臨時出張所も設置され、斎藤さんがデザインした小型日付印の押印サービス、観光協会の特産物販売も行われた。

また、貴重な古典籍などを所蔵する「西尾市岩瀬文庫」では、フェスティバルに協賛、前島密の書簡などの企画展が開かれた。

松鶴園での情報交換会。基調講演をする斎藤さん＝3月17日

大村愛知県知事

岡田実行委員長

重徳衆院議員

西尾局の朝倉局長

若杉社長

創業時の制服の庄司さん

通信文化新報　(毎週月曜日発行)　平成30年（2018年）4月2日（月曜日）
丸型ポストフェスティバル2018 in ふみの街 西尾
5面に特集
通信文化新報
毎日曜日 発行 通信文化新報
〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-5-1